



近藤じゅん子 通信 Vol.8

区議会公明党の提案で小学校入学準備金3月支給が実現へ!!

乳幼児教育費無償化もさらに前進!
通学路のブロック塀安全対策を推進!

第3回定例会・区議会公明党の代表質問より

平成30年9月20日

子育て支援

「渋谷子育てネウボラ」について

質問 我が会派は一貫して子育ての包括支援の構築を提案して参りました。産後のお母さんから切なる声をいただき、育児支援ヘルパー派遣事業「ここにママ」がスタート。そして産前産後ケアセンターが設置され、様々な制度へ広がり、子育てに寄り添った提案の一つ一つが実現しました。

そして平成27年度より、子育て世代包括支援センター渋谷区版ネウボラの提案をさせていただく中、「渋谷区子育てネウボラ」構築に向けての仕組みづくりがスタートしました。

「渋谷区子育てネウボラ」は、区と関係機関、さらには地域が連携することで、妊娠期から子育てと家庭の総合相談支援体制を一体的に実現し、何よりも様々な子育ての悩みを気軽に相談できる施設となります。

今年度は産前産後ケアに努力いただいているところですが、

産後の不安解消、うつ予防を目的として、休息が必要な産婦に助産施設等に宿泊してもらう「宿泊型産後ケア事業」が大変好評であると伺っております。

私たち公明党でも今夏に行った「100万人訪問アンケート」調査の中にも、多くの方から「産後早期は心身の集中的なケアが必要であり、専門性を生かした支援が欲しい。」等の声を多くいただきました。

「宿泊型産後ケア事業」がスタートして3ヶ月ですが、利用状況等を含め、現在の状況をお伺いします。

答弁(区長)本事業を開始した6月から8月までの実績は21件で、今後利用する人を含めた申請数は9月13日現在50件となっていることから、不安を抱える女性への支援の必要性の高さが伺えます。

産後ケアは、区としても重要だと考えており、今年度からは「パパ・ママ入門学級」にて、妊婦本人だけでなく

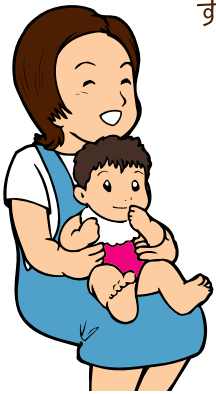
くパートナーに対しても、産後うつの予防や早期発見に繋がるよう取り組みを始めてます。さらに、平成31年4月からは妊婦面接を充実させ、妊婦とお会いし、支援プランを作成するなど強化してまいります。

質問 渋谷区では公明党が提案した、出産時の経済的負担の軽減を図り、安心して出産ができるよう、「ハッピーマザー出産助成金」を支給しています。

「渋谷区子育てネウボラ」では、さらに妊娠前から切れ目のないサポートを拡充し、安心して出産・育児ができる環境づくりの一環として、ネウボラ面接を終了した妊婦に「育児パッケージ」をお届けしてはいかがでしょうか。

これは妊婦面接への動機付けとして大変効果的であり、さらにリスクの早期発見・早期予防に繋げられ、個々の妊婦へ適切な対応もできると思います。

答弁(区長)議員ご提案の「育児パッケージ」は、区からの祝福を伝え、幸せな気持ちで赤ちゃんを迎えるための環境づくりの支援として有効と考えており、妊婦面接を受けた方にお届けできるよう、前向きに検討してまいります。



幼児教育無償化について

質問 昨年末に閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」

は、全ての3〜5歳児と住民税非課税世帯の0〜2歳児を対象に、幼稚園、認可保育所、認定こども園の費用を無償化すると決定しました。

公明党は無償化の対象を幅広くするよう要望し、無償化を「消費税引き上げと同時に一斉実施」するよう提案してきました。そして消費税率が引き上げられる来年10月からの幼児教育無償化の実施が決定しました。幼児教育無償化について、区長にお伺いします。

答弁(区長)幼児教育無償化については詳細な内容が国から示されていない状況ですが、国や東京都の施策との整合性を図りつつ、子育て世帯の経済的な負担軽減に取り組んでまいります。

通学路の安全確保について

質問 大阪北部地震の際、ブロック塀が倒壊する痛ましい事故が起きました。二度とこのような痛ましい事故が起きない



様、再発防止に全力で努めることが必至であります。

このたびの災害を教訓にし、子ども達の安全・安心を守るため、区内の全公立小中学校の施設及び通学路の緊急点検を行うよう、いち早く会派として、区へ「学校施設・通学路の安全点検」要望書を提出しました。

区として瞬時に総点検を行っていたいただき、早急な対策を検討いただいたと思います。今回、安全対策がはかられた整備状況について伺います。

答弁(区長)通学路の安全点検の結果、学校施設では、危険箇所が6校あり、夏季休業中に工事を進めるよう指示しました。

現在、神南小学校、広尾小学校、笹塚小学校の3校においては、工事が終了しました。

代々木中学校においては10月末を目途に、千駄ヶ谷小学校、代々木山谷小学校においては、11月末を目途にしています。

一方、通学路については、現在、ブロック塀の危険性の有無及び防犯の両面から、点検を実施しています。



小学校の入学準備金前倒し支給について

質問 中学校入学予定者について、本年3月に前倒し支給が実施されました。学校教育のために家庭が支出する金額は小中学校ともに1年生が最も多いといわれております。

小学校入学予定者の就学援助、入学準備費用の入学前支給についても早急に実施をしていただきたいと思えます。

答弁(区長)小学校入学予定者についても、平成31年度入学予定者に対し、今年度の3月に、前倒し支給を実施するための準備を進めたいと考えています。



防災対策

災害時の情報伝達・避難誘導について

質問 発災時には、障がいのある方や日本語が通じない方へのツールを活用も必要です。

消防庁のガイドラインではデジタルサイネージやスマートフォンアプリ等の活用による避

難誘導等の多言語化、文字等による視覚化、障害がある方への様々な特性に応じた対応や取り組みについて示しています。

渋谷区においても夜間時に大いに役立つ情報伝達・誘導ツールとして、また障害のある方や日本語が通じない方とのコミュニケーションツールとしても発

光型掲示ボードを避難所へ配備すべきと考えます。

答弁(区長)議員ご提案の発光型掲示ボードは、蓄電式のLEDにより手書きも字が発色し、首や肩から下げて持ち運びが出来る携帯ボードで、夜間や証明の少ない所での案内板としても、有効なツールと考えられます。

発光型掲示ボードは、特に聴覚障がいのある人へ安心をもたらす情報伝達ツールと思えます。まずは、夜間開設訓練での試用を検討し、実効性を検証してまいりたいと考えます。

高齢者の健康

肺炎球菌ワクチン接種率向上について

質問 国が報告している高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種の接種率は37・8%(平成28年度)と、定期接種制度を利用していない人が多い状況です。

渋谷区でも、接種できていない方へのもう一段回の啓発を考

答弁(区長)個別通知や4月と2月の年2回の区ニュースへの掲載に加え、地域包括支援センターややはつらつセンター、敬老館などに接種奨励のポスターの掲示等を行うなど、ピンポイントの取り組みも検討し高い接種率を維持してまいります。



ボランティア制度について

区独自のボランティア制度について

質問 都市ボランティア、大会ボランティアの募集も始まり、ボランティア保険に加入についても、共に主体者側が負担をするという事になっています。

しかし、「渋谷区独自ボランティア」は、個人でボランティア保険に加入して登録することになっていきます。

今後、多くの方にボランティアに携わって頂くためにも、渋谷区も都市ボランティア、大会ボランティアと同様に、保険加入を主体者側が負担してはどうかと考えます。

答弁(区長)渋谷区も、独自ボランティアへより多くの皆さんが安心して参加し、活動していただくために、保険料負担について前向きに検討してまいります。

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会 副委員長
- 五輪・パラリンピック対策特別委員会

渋谷区議会公明党控室
 TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
 携帯 090-2221-7507
 近藤じゅん子のブログ
<http://ameblo.jp/junkon-junkon-junkon/>

